弥生時代の食器

高坏（たかつき）

高坏とは、皿のように浅い器に脚台をつけた盛りつけ用の食器です。

『魏志倭人伝』に記された文

卑弥呼

「飲食用籩豆、手食」

訳）飲食には、籩（竹製の高杯）豆（木製の高杯）を使用し、手づかみで食べる。

このことから弥生時代の人々は高杯に食べ物を盛りつけ、そこから手で取って食事をしていたと考えられます。大垣市内の遺跡からは土製の高坏が多く出土しています。

その中には、装飾文様の豊かな高坏も見られ、神様に供献する容器として使われたと考えられます。